

先人の歩んだ道 これから歩む道

新庄村 平成27年 村勢要覧

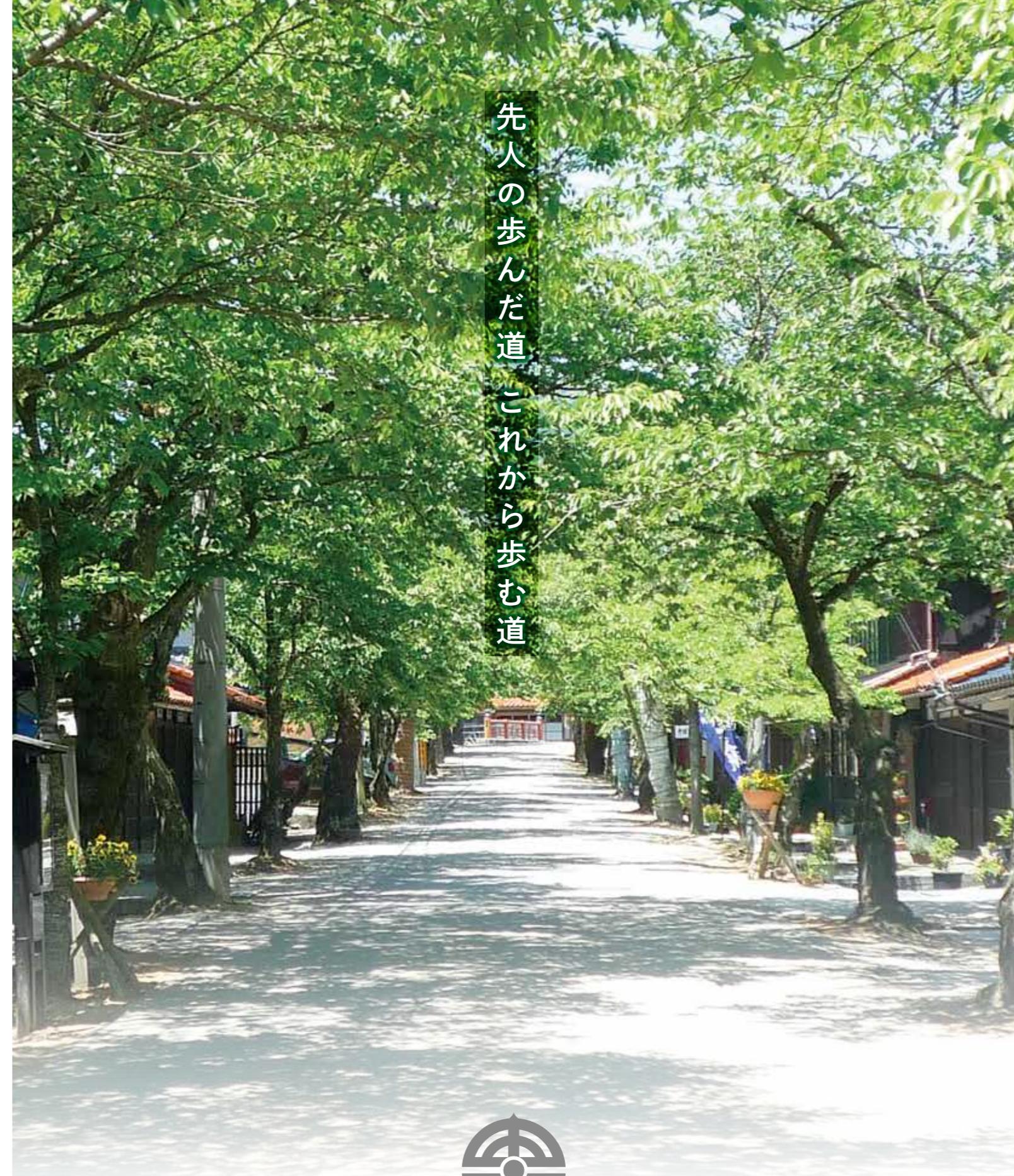


[発行] 岡山県真庭郡新庄村

[編集] 新庄村役場

岡山県真庭郡新庄村2008-1  
TEL 0867-56-2626  
FAX 0867-56-2629  
<http://www.vill.shinjo.okayama.jp/>

[制作] 株式会社トータルデザインセンター



新庄村

平成27年 村勢要覧

先人の歩んだ道 これから歩む道

# 新庄村

新庄村は岡山県の西北端に位置する

人口約1000人、380世帯の村です。

明治5年の村政施行以来一度の合併もなく、

大字のないのが特徴です。

古くは出雲街道の宿場街「新庄宿」として栄え、

旧出雲街道は今も当時の面影を残す風情ある通りとなっています。

また、毛無山を主峰とする1000m級の美しい連山に囲まれ、

岡山県三大河川のひとつ旭川の源流域にもあたります。

毛無山にあるブナの原生林を中心とした混生樹林が多く

植物、野鳥の宝庫となっており、

希少な動植物も数多く生息しています。

新庄村にはぼくら  
希少な動植物が  
たくさんいるよ



サワガニ

動物も植物も人間も、  
みんな新庄村で暮らす  
仲間だよ



ニホンヒキガエル  
(岡山県:絶滅危惧II類)

新庄村の豊かな  
自然が僕たちに  
元気をくれるんだ



アカハライモリ  
(岡山県:準絶滅危惧)



# あの頃の新庄村 これからの新庄村

平成15年村勢要覧で当時の小学3年生が描いた未来の新庄村。  
約10年が経ち、成人して、新庄村から離れて暮らす若い新庄村民の皆さんは  
今、新庄村をどう思っているのでしょうか。

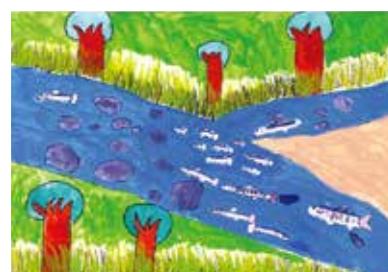
そしてこれからの新庄村の可能性を小倉村長と共に考えてもらいました。



## 「小学生の時は川でよく遊んでいた。 石がごろごろしているようなところで釣りをしていた」(山中さん)

—— 当時小学3年生の皆さんが描いた新庄村の未来を見てどう思いますか?

「自然、特に川を描いているものが多く感じます。」「自然や動物の絵が多いのは自然と繋がっている生活をしていたからかな?」「男の子の間では釣りが流行っていたから、魚の絵が多いのだと思います。土日には自転車で石がごろごろしているような川で釣りをしていました。」「新庄村で過ごして印象に残っていることは川がきれいで、とても美しい自然が体験できることです。」「やっぱり新庄村の一番の魅力は自然なんだと思います。」



● 小学3年生の植田さんが描いた新庄村の未来。

—— 当時の描いた未来の新庄村と現在の新庄村を比べてどう思いますか?

「自然がいっぱいという点では小学生の頃に描いた絵に近いと思います。特に都会で暮らす様になって帰省するたびに自然の良さに気が付きました。」「変わらずきれいな川のままで魅力的だと思います。」「自然がいっぱい、10年経っても変わっていないです。」「今のまま自然にあふれ、村の人たち全員が温かい新庄村であって欲しいと思っています。」

—— 現在、新庄村から離れて暮らしている皆さんですが、新庄村以外で暮らしてみてどうですか?

「高校生の時にはまだ新庄村から離れず、高校までバス通学をしていて遠いな…と。雪が降ると遅刻でした。」「今住んでいる所は、ちょっと小腹が減った時とかにコンビニとか夜遅くまでやっているお店があるのが便利で嬉しい。でも、お店の光や車が通らないから新庄村は星がきれいなんだと思いました。」「運動会は小中学生だけでなく、村民全員で参加することが他の地域ではないことを初めて知りました。」「だから村民が家族みたいなんだと思います。」

—— ここからは小倉村長を中心に新庄村の今後を考えもらいたいと思います。小倉村長はこの自然を今後どのように活用しようと考えていますか?

『皆さんと同じように自然は新庄村の宝だと思っています。特に新庄村は岡山県の一級河川である旭川の源流域にあります。これはどの地域と勝負しても負けることがない新庄村の財産です。例えば、源流域だから上流から農薬が流れてくるということはありません。これは農薬を減らせばどこにも負けない有機野菜に取り組むことができるということです。』

「今、新庄村といえば“ひめのもち”。将来の強みのためにひめのもち以外の農産物のブランド化もぜひ頑張って欲しいと思います。」

『今後の農産物として、植物工場を新庄村に作れないかと思っています。自然再生エネルギーを活用し、温室でマンゴーやパパイヤ、メロン、いちごなど高級だけどおいしい



新庄村村長  
小倉 博俊

新庄村村民  
瀬藤 葵さん

新庄村村民  
山中 秀斗さん

新庄村村民  
植田 憲介さん

新庄村村民  
佐藤 正宏さん

フルーツ、新庄村だからできる、例えば漬け物、キムチ等の食品工場の研究や自然を生かした新産業としての農業ができないかと考えています。』

『雪が降る土地というのも財産だと思います。』

『雪が降るほど寒い新庄村だから定着したのが“りんどう”です。りんどうは気温の高低差で色が鮮やかになり、また温室ではなく新庄村の冷たい水で育ったから色が長持ちします。こういった特徴を活かすとひめのもちに変わる農産物ができると思います。』



—— 源流域となっている毛無山一帯も財産ですね。

『毛無山は子どもの足では遠くて、実は登ったことがないです。でも、山がないと新庄村に帰ってきた気がしないので、山は残して欲しいです。』

『新庄村の山にはまだまだ手が入っていない状態なんです。現状の林業は原木の丸太を売っているだけで、これでは山が再生されません。もっと山を活用し、今は価値のない部分をチップやペレットなど価値あるものに変えていきたいと思っています。』

—— この10年でインターネットや野土路トンネルの開通など、新庄村内外の通信や交通も発達しました。今後はどういう活用をしていくと思っていますか?

『新庄村は県下でも先駆けてインターネットを整備した100%情報網が完備された村です。それを活かしてIT産業の誘致、サテライトオフィス事業を考えています。普段は自然いっぱいの新庄村で仕事をしてもらい、本社に帰る場合も野土路トンネルなど、交通網は十分整備されています。』

『今の小学生に聞いても新庄村のいいところは自然です。自然を残しつつ、ITとかの発展をして欲しいです。』

「何かお祝い事があったら新庄村に凱旋して欲しい  
そして、村を挙げてお祝いをしたい。(小倉村長)」

「人と自然が過ごしやすい環境、そこに利便性があれば嬉しいです。」

—— 新庄村で残したいものはなんでしょうか?

『がいせん桜。桜がないと新庄村に人が来なくなるかもしれない。』

『がいせん桜まつりは毎年県内外から観光客が来られて1年で1番新庄村が賑やかになる季節。これからも賑やかにして欲しいです。』

『全国でも宿場町に桜の並木があり、100年以上長生きしているのは新庄村にしかありません。また、がいせん桜という名前の“凱旋”という言葉を私は大事にしたいです。例えば新庄村の出身者に祝い事があれば凱旋して欲しい。そして、村を挙げてお祝いをしたいなど考えています。』

—— がいせん桜まつり以外のイベントで残したいものがありますか?

『あじわいまつりはソーラン節や踊りがあって、桜まつりとはまた違った賑やかな感じがあって好きです。』

『村の人がメインのイベントが好きです。』

『盆踊りが昔に比べて人が少なくなったから、もっと参加する人が増えると嬉しいです。』

『秋にあるだんじりがとても印象に残っています。他の祭りもこれからも長く続いている。』

『どのイベントも、新庄村自体も賑やかになるよう頑張ります。新庄村はまだまだ可能性があり、小さな村だからこそできることたくさんあります。やってできないことはありません。今後は新庄村で育った皆さんに戻ってきてもらえるように、また多くの人を呼び込めるように、皆さんと一緒に考えて行動したいと思います。』



# 新庄村の宝

未来の子どもたちに伝えたい新庄村の宝とは…?

新庄中学校の皆さんに新庄村の魅力を描いてもらい、作品は村へ寄贈されました。



## テーマ:歴史 新庄村の宝は…「長い歴史が、今も残っている」ところ

歴史的な宿場町をみんなで残していきましょう。

3年／岩佐 亜美

たくさん的人が大切にしてきた宿場町の春と冬の風景です。

3年／守岡 直輝

町の春の風景と冬の風景がすごく絵に表していました。

2年／門 太一

いつまでもこの桜並木を残し村を発展させていきたい。

2年／小山 雄大

私達が大切にしている町並みを季節と一緒に表しました。

1年／柴田 明日香

明治5年に村ができ、一度も合併していないのが自慢です。

1年／横山 実果



## テーマ:村民 新庄村の宝は…「村民の絆と平和」、「みんな人がいい」ところ

何年先も何十年先も元気で仲の良い村民であってほしい。

3年／本田 彩香

いつまでも村民全員一つの家族みたいにいられますように。

3年／深井 隆也

笑顔の絶えない村を、何年先も残していきたいです。

2年／辻 幸一郎

村民の協力でいつまでも自然豊かな村にしていきたいです。

2年／稻田 翔

みんなが元気に暮らしている村をこれからも大切にしたい。

1年／磯田 伊吹

村民みんなが輪になって支え合う新庄村でありたい。

1年／深井 果歩



## テーマ:自然 新庄村の宝は…「自然が豊かで四季折々がきれい」なところ

移り変わる四季の魅力を感じられる新庄村を守り続けよう。

3年／坂本 あすか

夏は、蛍と滝が見られます。夜に見るとてもきれいです。

3年／坂本 結香

春は桜が見られます。見ていると温かい気持ちになります。

2年／福井 柚香

夏はきれいな滝を見ることができます。滝は心地良いです。

2年／澤田 康太

秋は紅葉が見られます。いろんな葉が紅葉してきれいです。

1年／北畠 美空

冬は雪が多くなり、かまくらや雪だるまが作れます。

1年／佐々木 晶理



## テーマ:イベント 新庄村の宝は…「みんなが楽しいイベントがたくさんある」ところ

自慢の桜をもっとたくさんの人達に見てもらいたいです。

3年／木代 有香

何年経っても村民が集まる秋祭りにしていきたいです。

2年／本間 悠希

一人一人が助け合い協力していく村を保ち続けたいです。

2年／山口 勝矢

村民みんなで協力して楽しくもりあげていきたいです。

1年／安達 来夢

村民の努力で村全体に幸福が訪れるようにしたいです。

1年／綱島 陸



春



## 桜も笑顔もほころぶ、よろこびの季節

長い冬を終え、優しい春風が吹抜けるころ、草木は目覚め、美しい桜は村中を華やかに彩る。人々の心を和ませてきた、そのほのかな色彩が「がいせん桜通り」を桜のトンネルに変える。そんな春の訪れを祝う「がいせん桜まつり」で春の宴は最高潮に達する。

### がいせん桜まつり (4月)

がいせん桜まつりには県内外から大勢の観光客を迎える、傘おどりのパレードやつきたてのひめのもちを販売しています。夜にはライトアップも行われ、幻想的な空間になります。「がいせん桜」は明治39年に宿場町の街道両側に、日露戦争での戦勝を記念して、137本のソメイヨシノが植えられました。平成27年で109歳を迎えるなお咲き誇るその姿は人を魅了してやみません。



### しだれ桜 (4月)



新庄川の河川沿いに植えられた「八重紅しだれ桜」。川から望むしだれ桜は美しい村に相応しい景観を楽しめます。夜にはライトアップされ、昼間とは違った表情を見せてくれます。



### 消防初出式 (4月)

岡山県下でラストを飾る新庄村の初出式。中学生の少年消防クラブ・婦人消防隊・新庄村消防団が出席し、保育園児も行進に参加します。新庄村では全世代を通して消防活動に取り組み火災のない村づくりを目指しています。

### 芝桜 (5月)



新庄川の土手に植えられており、5月上旬が見頃となります。「がいせん桜」「しだれ桜」「芝桜」の順に花が咲き、4月から5月まで新庄村には「桜の花」が咲き誇ります。



### 田植え (5月)

春の雪解けとともに田植えの準備が始まります。苗代、代かきなど、昔ながらの作業に惜しみない時間と労力をそぎ、5月の連休あたりから田植えが始まり、新庄村中の田んぼが、一面すがすがしい緑色になります。

# 夏



## 生命力あふれる、緑風の季節

照りつける太陽、萌える緑。新庄村に束の間の夏が訪れる。

緑に包まれた毛無山のブナ林や杉は惜しみなく酸素を放出し続ける。

騒がしい蝉時雨の中、新庄川の涼しげな清流に誘われて子どもたちは水遊びに目を輝かせる。

### スポーツチャレンジデー (5月)

全国一斉に開催されるスポーツチャレンジデー(笹川スポーツ財団主催)に平成18年から毎年参加しています。早朝ウォーキングに始まり、森林セラピーロード散策やゲートボール、野球、運動教室などに子どもから大人まで総参加してスポーツを楽しめます。平成26年には『チャレンジデー大賞』を受賞しました。



### 毛無山 山まつり (6月)



山まつりは毛無山の山開きとも位置付けられ、3合目で夏山の安全、牛馬の安全、家内安全を祈願して護摩がたかれます。僧侶と信仰者によって点火され、木のお札が投げこまれて祭事が行われます。

### アマゴ(ひらめ) (6月)



アマゴのことを新庄村では「ひらめ」と呼びます。水が清く冷たい谷川に棲み赤黒の斑点のある魚で渓流の女王です。新庄村内のどの河川でも釣ることができます。

### ほたる (7月下旬)



人の営みと自然との調和がとれた新庄村は、清流と里山の夏の風物詩である蛍があちらこちらで見られます。ゲンジボタルとヘイケボタル、ヒメボタルにも出会えます。

### 盆踊り大会 (8月)



8月14日の夜空には、色鮮やかな花火と、太鼓の音が響きます。新庄村の盆踊りの特徴は、太鼓がクドキ場でたたくのではなく、踊り手の先頭に並んでたたきながら進んでいく形式で、大きな輪になって行います。

# 秋



## 大自然の芸術に酔う、彩りの季節

稻穂が黄金色にこうべを垂れ、赤とんぼが飛び交う田園風景。そのバックに広がる山々では、夏、太陽をいっぱい浴びた緑の葉が次第に赤や黄色に変わり、まるで宝石箱のよう。豊穣な大地からの収穫が終わるころ、人びとは冬の訪れに備える。

# 冬



## 全てが白く染まる、静寂の季節

木々の葉が落ち、虫たちもその姿を隠すようになると、冷たい北風が新庄村に長い長い冬の訪れを告げる。しんしんと絶え間なく降り積もる雪、一面の銀世界。その儂今までの美しさに心奪われる。何百回も繰り返されてきた静寂の季節。

### 合同運動会(9月)



### 秋祭り(10月)



### 秋のがいせん桜まつり(10月)



保育園児から小・中学生、お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃん、村民全員が走って踊って競い合い、応援し合う運動会。まさに村民一家族的な運動会です。

天の神に秋の実りの感謝と来年の五穀豊穣の祈願をする秋祭りです。大歳神社・御鴨神社・新庄神社の3社のお神輿と山車が村内を練り歩いた後、新庄神社に集まります。

がいせん桜通りの桜が紅葉する頃、餅つきやいも煮、鴨鍋など秋の味覚などで一年の収穫を喜び合い、風情を楽しむ、ほのぼのとしたお祭りです。

### 伝承餅つき(12月)



新庄村の餅つきは、東西南北の四方から四人で搗きあげるスタイルが特徴です。この技を受け継いでもらうために中学生に毎年体験してもらいます。

### ジョギング大会(1月)



「今年一年を元気に走り抜けよう!」と、新春にジョギング大会をしています。新春のキーンと冷たい空気の中で、応援したりされたりします。平成27年で33回目を迎えました。

### 成人式(1月)



新庄村で育ち、さまざまな経験をしてたくましくなった新成人の皆さんをお祝いします。少人数ならではのあたたかい祝賀行事です。

# 新庄村の暮らししづくり

近年では、少子高齢化による問題や、自然災害への対策に特に力を入れています。

新庄村の冬は決して楽ではありませんしコンビニもありませんが、

「顔がみえる」新庄村ならではのコミュニティと、

学校と地域が連携して子どもを見守り育てる取り組み、思いっきり山や川で遊べる環境があります。

新庄村には安心で心豊かな暮らしがあります。

## 行政・議会

村民の目線にあわせ  
ニーズに即応した  
快適な生活を支える基盤づくり



新庄村は、小さくても輝くオーナーをもつ農山村が加盟する「日本で最も美しい村連合」に平成21年に加盟し、自らの村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるため、人口1000人だからこそできる団結力で、住民が村づくりの主体となり持続可能な自治体運営を進めています。

「新庄村で育って良かった」「新庄村に住んで良かった」と思える村づくりを目指します。

### ■広報誌

月一回発行の広報誌をはじめとする行政活動や各種行事の情報公開を通じて、村政に対する理解を深め、村民参加の村づくりの推進に努めています。



## 健康・福祉

村民が相互に助け合い、  
高齢者になっても  
安心して生活できる村づくり



新庄村は、誰もが安心して健康で過ごすことのできる村を目指して、ハード面ではふれあいセンターや内科・歯科診療施設を併設し利用しやすい医療サービスの充実を図り、ソフト面では各種検診助成や不妊治療助成などの施策や、各地区に出向いて心のハリを支え合う「サロン」の開催、介護予防教室の開催、学校や各種団体と高齢者との交流事業などを積極的に推進しています。平成22年度からは福祉事務所を設置し、より住民の皆さんに近いところで必要な福祉サービスが受けられるよう努めています。

### ■スマート・トレーニング(スマトレ)教室

健康寿命の延長を目的とした、体力年齢の若返りを実感できる新しい運動教室です。健康増進分野では日本初のベンチャー企業と提携し、科学的な運動法と最新の歩数計を取り入れています。村人口の5%にあたる50名以上の参加者を誇っています(平成27年4月現在)。



## 教育・文化

自然とふれあいながら  
個性と人間性を培う環境を整え、  
豊かな未来を築く人づくり



新庄村の豊かな自然の中で子どもたちがのびのびと育つことのできる子育て環境を整備しながら、新庄村の宝として子どもを尊ぶ「新庄っ子宝憲章」を掲げ、子どもたちが夢を持って、たくましく生きる事ができるように新庄保育所、新庄小学校、新庄中学校を通じて支援しています。伝統文化や史跡の保存、文化活動の支援などにも積極的に取り組んでおり、生活スタイルの多様化した現在の村民に対応した環境づくりをすすめ、やさしさとふれあいあふれるすべての村民が有意義な生活を営むことができる村づくりを目指して努力を続けています。

### ■ふるさと文化祭・生涯学習推進大会

保育園児から一般の団体が、劇、舞踊、コーラス、三味線など日頃の練習の成果を披露します。また、作品の展示コーナーや有志による模擬店も賑わいます。



## 消防・防災

安心・安全に暮らすために  
村民自ら訓練に取り組み、  
もしもの時に備える地域づくり



住民で編成された新庄村消防団は、火災・災害時に重要な役割を担っています。自分たちの地域は自分たちで守るという精神のもと、安心・安全な地域づくりの要となっています。新庄村地域防災計画に沿いながら消防団活動を通じて住民への啓発を行い、防災意識の向上に努めるとともに、防災訓練を実施し、不意の災害に備えています。また、救急、消防活動において真庭市消防と連携しています。

### ■総合防災訓練

2年に1度、全村民を対象とした総合防災訓練を行っています。防災に対して「自助・共助・公助」の考えのもと、住民の意識啓発や防災知識の普及に努めています。



**新庄村の産業**

先人の歩んだ道 これから歩む道

## 農業

新庄村は夏の昼と夜の温度差が大きく、ヒメノモチの栽培に最適です。他にもこの気温の高低差が色を鮮やかにするリンドウも特産品です。深山のエメラルドと称されるサルナシはキウイフルーツの原種で、甘い香りとまろやかな甘みがあり、その味覚とともに岡山大学の研究による効能が期待されています。人や環境に優しい新庄村ならではの栽培環境が自慢です。今後は、源流域野菜の美味しさと、さらに、有機農業サポートセンターを中心とした土づくりからこだわった身体に優しい野菜作りに取り組みます。

## 畜産業

古くから和牛の産地として栄えた地域であり、現在も家畜は新庄村の基幹産業となっています。有機農業との連携を深め土づくりから販売まで全て新庄村内で好循環できる仕組みづくりや環境への配慮など効果が期待できます。

## 人づくり

人と人、人と自然の中で生まれ育った特産品

村民の努力と研究の結果、美味しい餅米「ヒメノモチ」が作られました。今や新庄村の特産品となった「ひめのもち」のさらなるブランド強化の取り組みを進めると共に、磨かれた技術と伝統を子どもたちの世代につないでいくよう努めます。

## 伝統

## 製造業

新庄村を包み込む大自然は豊かな恵みをもたらしてくれます。自然や地域資源を活用し、村内で循環させながら環境を保全する取り組みが行われています。

## 水

清涼な水と空気を生むブナの原生林

ブナ林は二酸化炭素を吸収、酸素を生産し、きれいな空気を生みます。また、ブナの腐葉土が雨水を濾過し、やがて旭川の源流、新庄村へ注がれます。この貴重な水資源を保持できる自然環境保全が重要と考えています。

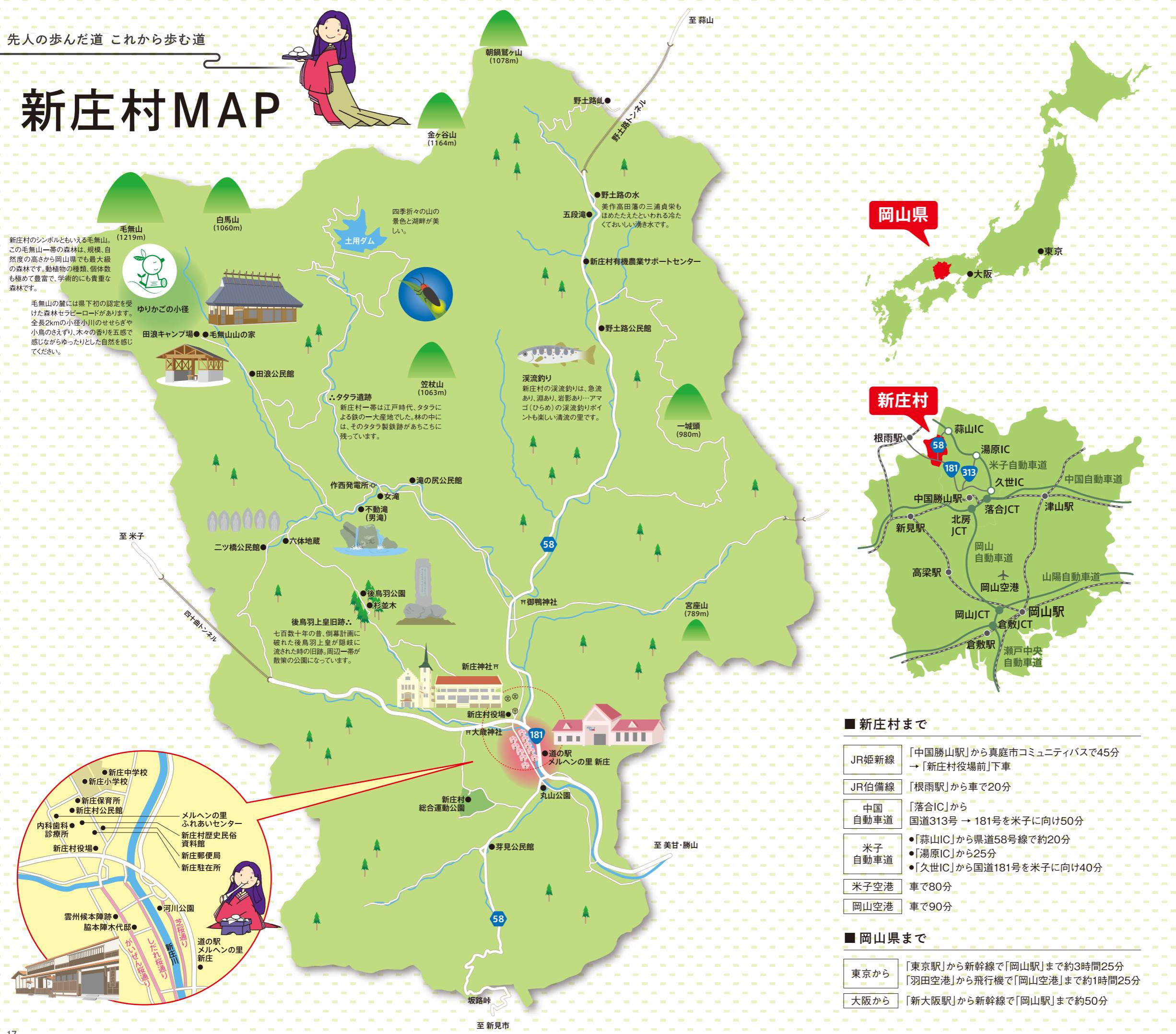
## 空気

## 林業

新庄村の基幹産業である林業は、従来の原木の出荷だけでなく森林資源を再生活用することで新たな雇用につながるビジネスモデルを目指します。また、森林のもつ多面的機能（水源かん養、保水調整機能など）を考慮し、広葉樹を多く含む天然林と人工林の適切なバランス調整を図っていきます。今後は、県下で初めて認定された森林セラピー基地に代表される独自の環境を活かし、また農業など他産業とも連携を強化し、グリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズム、自然環境学習の拠点化を進めていきます。

15 16

# 新庄村MAP



## ごあいさつ

新庄村村長 小倉 博俊

新庄村は明治5年の村政施行以来一度の合併もなく、さまざまな艱難辛苦を乗り越えてきました。新庄村を愛する村民の熱い思いを受け止め、平成14年に「小さくても合併せずに自主自立の村を目指す。」新庄村宣言をし、平成の大合併の大きな流れにも立ち向かい今日に至っています。今、国はまち・ひと・しごと創生本部を設置し地方自治体の自主的な取り組みを可能にしようとする方向に動きはじめました。地方新時代が始まります。私はこの流れを見越し、いち早く「新庄版総合創生戦略」作成に着手しました。民意を尊重した夢と希望と活力のある新庄村を作りだします。里山にはお金に換算できない価値が眠っています。新庄村の強さは、「顔が見えるサイズ感」です。小さな村が自然を生かし、都市と世界と縁を結んでいく、そんな大きな夢を子どもたちと描きながら、先人が歩み、受け継がれてきた道を、今度は私たちが次の世代へつなげていきます。



村章



村木「杉」



村花「さくら」



イメージキャラクター  
「ひめっ子」